

## 接続前期

みんなで力を合わせる



5歳児の姿

## 接続中期—1

成長を実感し意欲と期待感を持つ

幼児教育では、幼児が発達に必要な様々な体験を通して、『知識や技能の基礎』や『思考力・判断力・表現力等の基礎』、『学びに向かう力、人間性等』が育まれていきます。そして、接続中期—1には、園生活の中で表記に示すような幼児期の終わりまでに育ってほしい姿が見られるようになります。幼児がこれらの姿を学校生活の中で発揮できるよう、保・幼・小接続が重要になってきます。

★「折る」という経験一つをとっても、折り紙やシートの片付け、手紙折り等、日々の活動で繰り返している。



自立心

思考力の芽生え

数量・図形、文字への関心・感覚

言葉による伝え合い

★「給食の準備」「掃除」等も、技能的な習得だけでなく、どのように行動したらよいかを考えたり友達と声をかけ合って協力したりすることを通して、思考力や集中力を培い、体力の向上にもつながっている。



自立心

健康な心と体

自然との関わり

道徳性・規範意識の芽生え

社会生活との関わり

★ 友達との関わりの中で、自分の思いを伝えたり友達の思いにも触れたりしながら意見をぶつかり合わせ、自分の気持ちと折り合いをつけながら遊びや生活を進めていく。

材料は同じでも切り方や色の使い方は「自分はこうしたい」と思いを出して表現している。



「僕がする」「皆だっていたんだから」「じゃあ」と思いを伝え合っている。



「さかな・さる、どっちも『さ』だよ」考えを出しながらしりとりカルタを仕上げていく。



豊かな感性と表現

思考力の芽生え

言葉による伝え合い

数量・図形、文字への関心・感覚

協同性

## 接続中期—2

先生や友達などに慣れ、楽しく過ごす

入学式の翌日から  
1週間の  
**1年生の姿**

## 接続後期

互いのよさを発揮しながら意欲的に取り組む

子どもたちの学校生活は、入学式から始まります。

入学当初の授業は、幼児教育との連携を図り、各教科とも関連を図った「スタートカリキュラム」を活用して行われています。

接続中期—1に見られた姿が、接続中期—2で発揮されるよう保・幼・小が互いの保育・教育のあり方を知り受け入れたうえで、子どもたちの姿を中心としたよりよい接続となるようにしていくことが重要になってきます。

幼稚園や保育所（園）での生活と同じことや違うことに気付く。その違いに戸惑い、困り感を抱きながらも、周りの状況を見たり自分なりに判断したりし、行動しようとする。

### ちょっと違うところもあるけど同じだね

⇒手紙（プリント）もらい方・渡し方・たたみ方



### 学級活動「プリントのもらい方・渡し方・たたみ方」

(2) 日常生活や学習の適応及び健康安全  
イ 基本的な生活習慣の形成

折り紙みたいに  
角を合わせて  
たためるよ

### 幼稚園のときと同じだね

⇒何を描くか自分で決めて、自分で考えながら描く



ぼく、電車が好き、  
描くの得意なんだ。  
春休みにD51を  
見に行ったんだ。

### 図画工作科「すきなもののいっぱい」

A—2 見たことや経験したことをもとに表す。  
自分の好きなことや好きなものを思い付いて気楽に  
何枚も描くことの楽しさを味わう。

### 保育園でも皆の前で発表したよ

⇒教科書の絵を見て、思ったこと  
や考えたことを発表する



この人が先生で「みんな  
で一緒に遊ぼうね」  
って、言っています。

### 国語科「あさ」

知らせたいことを選び、先生や友達に分かるように話す。  
思い出したこと、想像したことを話すことができるようにする。

違うなあ⇒場所や置き方の違い  
⇒生活スタイルの違い

### 生活科「がっこうのせいかつ 靴の入れ方」

学校生活を送るための  
習慣や技能を身に付ける。



向きをそろえて  
置くんだよ。

### 何回もやったことがあるから大丈夫

⇒給食当番になって身支度をし、配る



帽子も  
自分で  
できるよ。

### 学級活動「給食の準備と後片付け」

(2) 日常生活や学習の適応及び健康安全  
工 清掃などの当番活動等の役割と  
働くことの意義の理解

「勉強する！」と、張り切るが、予想以上に緊張感を感じている。先生から褒められたり認められたりすると、ホッとした表情になる。

入学直後は気持ちと現実との間にギャップが大きい。学級という環境や教師との関わりに『安心感』があることが、幼児期に培った力の自己発揮につながっている。

